

下川淵地区の人口と世帯数

令和5年9月末日現在()は前月比

人口	9,378人(+1)
男	4,582人(-6)
女	4,796人(+7)
世帯数	3,791世帯(-1)

令和5年11月1日 第528号

前橋市下川淵公民館



E-mail

館報 下川淵

〒379-2141 前橋市鶴光路町701

電話: 027-265-0651 FAX:027-265-5160 電子メール: d410213@city.maebashi.gunma.jp ホームページ <https://www.city.maebashi.gunma.jp/>

下川淵公民館子育て親支援事業

クリスマスフォトスポット&手作りアルバム作り

思い出の一瞬をいつでも見られるように
かわいいアルバムにしてみませんか？

講師の先生が一から丁寧に教えてくれるので
初心者でも、小さなお子さんと一緒に大丈夫です♪
この時期にピッタリのクリスマスの背景で写真を撮影して
お子さんの手形足形と一緒にデコレーションしてアルバムを作りましょう



- ◇日時 12月7日(木) 10時~11時30分
- ◇場所 下川淵公民館 和室
- ◇対象 未就園児親子 8組

(地区子育てサロンスタッフによる見守り・遊具もあります。)

- ◇持ち物 アルバムに使用したい写真(L版) 1~2枚
※当日撮影するクリスマスの写真はご自身のスマートフォンで撮影になります。※サンプル
後日、各自で印刷した写真をアルバム台紙に貼ることも可能です。

- ◇講師 アルバムアドバイザー 手作りアルバム講師
秋山 泰子先生(手作りアルバム教室 楽(Easy&Fun))

- ◇材料費 600円(型紙、リボン、手形・足形材料等が含まれます)

- ◇申し込み 下川淵公民館まで電話・来館・申込フォームで

- ◇注意事項 ※サンプル画像にある写真の背景等は当日使用するものとは異なります。
※手形・足形のどちらか片方を選択してください。
※道具類は共有となります。



申し込みフォーム



お正月を迎える 「しめ縄づくり教室」



お正月を迎えます。お正月飾り(しめ縄)づくりを体験して、日本の伝統文化を紡いでいきましょう！
地域の方がやさしく教えてくださいます。

- ◇日時 12月16日(土) 10時~12時
- ◇会場 下川淵公民館 ホール
- ◇対象 下川淵地区小学生とその保護者15組(子どもだけでも可)
- ◇講師 井野 隆二さん(徳丸町)
下川淵地区老人クラブ役員
- ◇参加費 無料
- ◇申し込み 下川淵公民館へ直接又は電話にて
※11月6日(月)から先着受付です。



11月12日（日）から25日（土）まで「女性に対する暴力をなくす運動」期間です

配偶者などからの女性に対する暴力、性犯罪、ストーカー行為、売買春、人身取引やセクハラなどの女性に対する暴力は、女性の人権を侵害するとともに決して許されない行為です。ひとりで悩まないでまずは相談を！

相談先＝DV電話相談（平日9:00～17:00）027-898-6524

また、運動期間中、女性に対する暴力根絶のシンボルであるパープルリボンにちなんだパープル・ライトアップを実施し、女性に対するあらゆる暴力の根絶を広く呼びかけます。

【パープル・ライトアップ】

期間 11月12日（日）～25日（土）

時間 日没～22時

場所 日本トーターグリーンドーム前橋・臨江閣（臨江閣は初日のみ点灯）



人権について—高齢者の人権—

我が国の現状は、平均寿命の大幅な伸びや少子化などを背景として、人口の4人に1人が65歳以上の高齢者となっています。こうした状況の中、身体的・心理的・経済的虐待といった高齢者の人権問題が生じています。

すべての高齢者が、これまで果たしてきた役割や功績とともに尊重される社会、また長年培ってきた知識や経験を活かして地域の担い手として生きがいをもって暮らせる社会を実現するために高齢者についての理解を深め、高齢者を大切にすることが必要です。

「人権啓発リーフレット『やさしい心』」より

下川淵地区の戦後五十年 その③⑥
七 昭和三十年（前回の続き）

(三) 学校給食の主な歴史

○平成四年（一九九二年）

埼玉県北葛飾郡庄和町（二〇〇五年一月一日に町村合併で春日部市となる）で、町長が「給食廃止」を打ち出し、大きな混乱を招いた。しかし、町長が急死したため廃止論が下火となり、存続された。

(四) 日本の学校給食

学校給食の実施状況としては、平成二十八年（二〇一六年）五月現在、小学校では一九、五一〇校（全小学校の九九・二％）、中学校では九、〇〇〇校（全中学校の八九・〇％）、特別支援学校等も含め全体で二九、九五九校で学校給食が行われている。約九三〇万人の子ども達が給食を食べている。学校給食実施校は着実に増加しているが、中学校の実施率など課題もあることから、より一層の学校給食の推進が必要と思われる。

また、学校給食における食物アレルギー対応について文部科学省では平成二十四年（二〇一二年）に発生した死亡事故を受けて開催した有識者会議の最終報告をふまえて、学校におけるアレルギー対応の改善・充実のための資料として「学校給食における食物アレルギー対応指針」「ガイドライン要約版」「学校におけるアレルギー疾患対応資料（DVD）」を作成した。平成二十七年（二〇一五年）三月に全国の教育委員会や学校等へ配布すること等を通じ、食物アレルギー等を有する子どもに対する、よりきめ細かな取り組みを推進している。

☎265-7070 開館時間 火～金 10時～18時 土・日 10時～17時

【11月の休館日】11月は休館日が変則です。ご注意ください。

11(土), 12(日), 20(月), 27(月) ※11(土)・12(日)の代わりに6(月)・13(月)開館します(17:00閉館)。

市立図書館下川淵分館からのお知らせ

◆11/11(土)・12(日)文化祭のため分館は休館ですが、今年度もまたリサイクルブックの大量配布を行います!! 両日とも9:30～12:00 分館入り口にて行いますのでぜひお立ち寄りください♪

◇11月の特集 『図書館で紅葉狩り♪』 ◇「おすすめ絵本」 『SDGsがわかるえほん』

区分	書名	著者名
新刊案内 一般書	ChatGPT見るだけノート	松村 雄太／監修
	逆説の日本史 古代暗闘編	井沢 元彦／原作・脚本
	五輪汚職	読売新聞社会部取材班
	40歳からの転職成功メソッド	中谷 充宏／監修
	子どもが笑顔で動き出す本当に伝わる言葉がけ	小川 大介
	与える人になりなさい	大山 皓生
	マジンガーZ機械獣激闘録	
	暮らしのおへそ Vol.36	
	警官は吠えない	池田 久輝
	おいしいペランダ。 [12]	竹岡 葉月
	怪物のゆりかご	遠坂 八重
	あなたが誰かを殺した	東野 圭吾
児童書・絵本	小島よしおのボクといっしょに考えよう	小島 よしお
	翼をもたない私たちは、それでも空を飛びたかった。	山下 君子
	ふしぎ駄菓子屋銭天堂 20	廣嶋 玲子
	けものみちのにわ	水凧 紅美子
	いやいやいちご	こが ようこ
	おひげのポンといじわるガハハ	かなざわ まこと
	そらまめくんのごめんなさい	なかや みわ

第43回下川淵地区文化祭
開催!

下川淵地区で生涯学習に励む方々の日頃の成果の発表と、地域の皆様の交流の場として、「下川淵地区文化祭」を開催します。今年度は、作品展示と交流の集い・舞台発表、及び催し物を開催します。楽しい催し物が盛りだくさんです。皆様のお越しをお待ちしています。

詳細は11月1日発行の館報下川淵文化祭特集号をご覧ください。

下川淵地区文化祭実行委員会

(五)食物アレルギー事故
平成二十四年(二〇一二年)十二月、東京都調布市の市立小学校で給食を食べた五年生の女子児童(当時、十一歳)が、食物アレルギーのアナフィラキシーショックで亡くなった。
亡くなった女子児童は乳製品にアレルギーがあり、普段の給食ではアレルギーの原因食材を抜いた「除去食」を食べていた。だが、事故当日、チヂミにチーズが入っていて、女兒に誤って提供された。女兒はアナフィラキシーショックに有効な自己注射薬「エピペン」を持っていたが、混乱の中打つことも遅れた。
調布市は再発防止に向けて、専門家らによる委員会への指摘をふまえて、食物アレルギーへの対応マニュアルを作った。これが「調布モデル」として全国に広がっている。食物アレルギーのある子どもが増加傾向だとされ、文部科学省の二〇一三年の調査では小中高生の約四・五パーセント(約四〇万八千人)に該当する。
(参考文献・下川淵村誌『清水孝雄(亀里町寺家)』)

カルタの日（12月第2日曜日）記念イベント

第12回カルタウォーク

歩きながら知ろう、いいところ下川淵

参加者募集

カルタスポットを巡るのはもちろん、下川淵の歴史をかたる石碑なども訪ねながらウォーキングを楽しもう！下川淵のトリビアも発見！

日 時 令和5年12月10日（日） 9時00分集合 ※小雨実施

所要時間 解説含めて3時間程度

集合場所 下川淵公民館

参加対象 おとな・子ども
(小学生低学年・幼児は保護者同伴)

募集人数 先着50名

持ち物 タオル、水、筆記用具、歩きやすい靴・服装

コース 公田・矢島方面
下川淵公民館発＝昭和大橋＝諏訪神社&覚動寺跡＝公田の渡し跡＝
公田町公民館と熊野神社（トイレ休憩）＝乗明院＝
矢島七観音（曼荼羅絵、農地改革碑、仏塔礎石）＝
消防団詰所＝下川淵公民館着

参加賞 カルタで語る「カルタパン」

申込方法 11月末日まで下川淵公民館まで連絡

主催 下川淵地区地域づくり推進協議会
下川淵カルタ活用委員会、下川淵地区食生活改善推進員会

